

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	航空宇宙工学		
英文授業科目名	Aeronautics and Space Technology		
開講年度	2006年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	佐々 修一		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
sasa@chofu.jaxa.jp	

【主題および達成目標】
<p>主題</p> <p>情報通信分野と航空宇宙分野は現代社会では不可分の関係にあり、それぞれの新規技術が相互に影響し合い、新たな技術や応用分野を開拓し続けている。ここでは航空宇宙工学の基礎、応用、最新の動向について概括し、各種応用のための基礎知識を学ぶ。</p> <p>達成目標</p> <p>航空宇宙工学の基礎知識を学ぶ。</p> <p>最新の研究開発動向について学ぶ。</p> <p>将来に関する展望を得る。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
教養程度の数学や力学

【教科書等】

室津義定 「航空宇宙工学入門」森北出版

茂原正道 「宇宙工学入門」培風館

【授業内容とその進め方】

(a)授業内容

第1回 航空技術の概要

第2回 空気力学(1)

第3回 空気力学(2)

第4回 推進、性能

第5回 制御(1)

第6回 制御(2)

第7回 ヘリコプタ、その他

第8回 宇宙技術の概要

第9回 宇宙輸送システム(ロケット)

第10回 軌道

第11回 ロケットの誘導、制御

第12回 衛星の誘導、制御

第13回 宇宙利用、最新動向、今後の展望

第14回 補足説明

第15回 期末試験

(b)授業の進め方

電気通信大学 平成18年度シラバス

教科書、配布資料、プロジェクト等を使い、分かり易く、効率的な授業を行う。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法

期末試験および演習・宿題の結果を総合評価する。

(b)評価基準

授業内容をよく理解していること。

【オフィスアワー：授業相談】

メールなどで事前にアポイントをとること。時間帯は授業終了後など。

【学生へのメッセージ】

基本事項をもれなく紹介し、航空宇宙工学の常識が身につくような授業にできたらと思っています。日ごろから宿題などをしっかりやり、授業内容をできるだけ身につける（体で覚える）ようにすると思います。

【その他】